

平成27年度部長マニフェスト取組結果

部(局)名	都市整備部
部(局)長名	野上 博史

【達成度について】

A：達成（設定した目標を達成することができた。）

B：一部達成（設定した目標の一部のみ達成することができた。）

C：未達成（目標達成に向け取り組んだものの、目標達成にはいたらなかった。）

重点課題 3	良好な住宅や住環境づくり
--------	--------------

全体の達成度

A

達成

目指すべき方向	多様なニーズに対応した住宅整備を図ります。
---------	-----------------------

活動目標
市営住宅の建替えを促進します。
既存民間賃貸住宅を借上げて生活困窮者に提供します。

具体的な取組実績
要求水準書や事業者からの提案書など公共サービスの履行に関し、適正かつ確実なサービスの提供の確保がなされているかどうかを確認しながら、PFI事業として（仮称）新佐竹台住宅集約建替事業を進めました。
民間市場に流通する賃貸住宅の中から借上住宅としての条件を満たす7戸を選定し、所有者と賃貸借契約を締結したうえで一定期間借り上げ、市営住宅として供給しました。



達成目標
（仮称）新佐竹台住宅の集約建替をPFI事業として実施します。
既存民間賃貸住宅7戸を市営住宅として新たに借上げます。

達成状況	達成度
大阪府住宅供給公社住宅の解体・撤去及び（仮称）新佐竹台住宅の実施設計等を終え、建物本工事に着手し、杭の打設まで完了しています。平成29年4月末までに新住宅の市への引渡しに向け、計画どおり事業を進めました。	A 達成
子育て世帯向け住宅5戸及びひとり親世帯向け住宅2戸の計7戸を市営住宅として供給しました。	A 達成

総合評価・総括

公営住宅は、住宅に困窮する低額所得者の居住の安定と居住水準の向上のため大きな役割を果たしています。このため、平成27年度は、一定の期間、民間賃貸住宅の空き室を借り上げる借上型市営住宅を7戸供給しましたが、平成28年度においても、一定数を借上型市営住宅として供給します。

また、（仮称）新佐竹台住宅については、引き続き、事業契約に基づき、提案されたサービス水準等の確保がなされているか確認を行いながら事業を進めていきます。